

研究・調査報告書

報告書番号	担当
101	滋賀医科大学福祉保健医学講座
題名 (原題/訳)	
Influence of Apolipoprotein E, Smoking, and Alcohol Intake on Carotid Atherosclerosis: National Heart, Lung, and Blood Institute Family Heart Study 頸動脈の粥状硬化に及ぼすアポリポ蛋白 E、喫煙、飲酒の影響 : NHLBI 研究	
執筆者	
Luc Djousse, Richard H. Myers, Michael A. Province, Steven C. Hunt, John H. Eckfeldt, Gregory Evans, James M. Peacock, R. Curtis Ellison	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Stroke, 33(5); 1357-1361, 2002 May.	
キーワード	
Apolipoproteins, atherosclerosis, carotid arteries, cigarette smoking アポリポ蛋白、粥状硬化、喫煙	
要 旨	
<p>背景と目的 アポリポ蛋白 E (アポ E) 分画と生活習慣は冠動脈疾患の発症に重要な役割を担っている。アポ E と頸動脈の粥状硬化との関係は未だ明らかにされていない。</p> <p>方法 National Heart, Lung, and Blood Institute Family Heart Study (NHLBI)の対象者のうち冠動脈疾患を持たない 544 人を対象に、アポ E、喫煙および飲酒習慣と頸動脈の粥状硬化との関連を検討した。頸動脈の粥状硬化は超音波エコーで検査した。</p> <p>結果 対象者のうち、アポ E 4 群は血圧が低く、HDL コレステロールが低く LDL コレステロールが高かった。ロジスティックモデルを用いた解析で、頸動脈の粥状硬化のオッズ比に対してアポ E 分画と飲酒量の影響は有意ではなかった。対照的に、非喫煙者に対する頸動脈の粥状硬化のオッズ比は禁煙者群が 1.7 (信頼区間 1.1-2.7)、1~20 本/日の喫煙者群が 2.8 (信頼区間 1.2-6.2)、20 本以上/日の喫煙者群が 1.9 (0.7-5.5) であった ($p=0.0018$)。アポ E と飲酒量との間に相互作用は認められなかった。頸動脈の粥状硬化に対する喫煙およびアポ E のオッズ比は、喫煙単独では 1.7 (0.8-3.6)、アポ E 4 単独では 1.0 (0.6-1.8)、そしてアポ E 4 と喫煙が共存する場合は 3.7 (1.1-3.6) であった。これらの成績は頸動脈の粥状硬化に対してアポ E 4 と喫煙が相互に作用していることを示唆する。</p> <p>結論 喫煙は飲酒やアポ E 4 とは異なり、頸動脈の粥状硬化のオッズ比を高めることが明らかとなった。また、喫煙とアポ E 4 は相互に作用して頸動脈の粥状硬化を促進することが示唆された。</p>	